



**アメリカ
ホームステイ
&
留学の英会話**

永野 真司 著

三修社

CDトラック対応表

Track	ページ	Track	ページ
01 初対面の会話・個人的情報	20	14 健康	76
02 ホストファミリー	26	15 医師との会話	78
03 学校生活	44	16 ショッピング	80
04 学生同士の会話	48	17 季節	84
05 アドバイザーとの会話	53	18 友情	88
06 ブックストアでの会話	56	19 食事	90
07 図書館での会話	59	20 旅行	96
08 テストに関する会話	61	21 パーティー／祝日・行事	102
09 趣味・娯楽・映画	64	22 政治	110
10 読書	67	23 産業・経済	114
11 音楽	69	24 社会問題	118
12 テレビ	71	25 日本	126
13 スポーツ	72		

Printing of this document are strictly prohibited.

はじめに

本書はホームステイ・留学をしようと志している方が短期間で学習し、自信を持ってまたワクワクした気持ちでアメリカに向けて出発できるように編集されたものです。

英会話は Questions & Answers が核になって成立していますが、現在でも自己表現主体の英会話教材が圧倒的に多いように思われます。しかし本書は**即実際の会話で役に立つようにすべて会話形式を取っており、外国人と会話をする前に十分にトレーニングをすることが出来る**ようになっています。

本文ではホームステイや留学の際によく話題に上る 17 のトピックを扱っていますので、1人でまたは誰かとペアになって何度も練習し、自信を持って話せるトピックを少しずつ増やして行って下さい。現地では、勉強した英語を積極的に使ってみて、いろいろなトピックについての会話を楽しんで下さい。たとえ何年も海外生活を送っても、実際に英語を使ってみなければ、英会話は上達しませんので、本書の質問を使ってドンドン外国人に話しかけてみましょう。

本書の他の特長として、質問に対して自分の場合に置き換えて練習をする際に、いちいち辞書を引かなくても済むように関連単語・表現を多数提示してあります。また、本文を理解しやすいように、難しいと思われる単語・熟語・表現・語法には詳しい注を付けてあります。さらに、ホームステイ・留学を成功させるのに役立つアド

バイスを記してあります。

本書を完遂された方は英会話にかなり自信を持たれ、覚えた表現を外国人に使ってみたくないと確信しております。皆さんの英会話力の向上とホームステイ・留学の成功を心より祈念致します。

最後に本書を上梓するにあたり、的確なアドバイスと機会を与えて下さった株式会社 三修社の澤井啓允氏、そして英文の校閲をして下さった Mr. James A. Miller に心より御礼申し上げます。

2010年4月

永野 真司

本書の使い方

1. アドバイスを読み、ホームステイ・留学をするための予備知識や心構えを身に付けて下さい。
2. 本文の難しい単語・熟語・表現・語法には注が付いていますので、それらを読み、しっかり本文を理解した上で音読をして下さい。考えなくても自然に英語が口から出てくるまで音読練習をして下さい。自分の興味のあるトピックから学習して下さい。
3. 本書の質問について関連単語・表現を使って自分の立場で答える練習をしましょう。また、目の前に外国人がいると想定して各トピックについて質問する練習もしましょう。一緒に練習してくれる人がいましたら、なるべくペアで練習して下さい。
4. 米国の祝日、行事、選挙などについての注を読み、アメリカの文化や伝統などについての基礎知識も身に付けて下さい。
5. いつも鞆の中に入れて持ち歩き、どこでも学習できるようにしておきましょう。渡米する際には忘れずに持参して下さい。

はじめに 1

01 初対面の会話・個人的情報	20
02 ホストファミリー	26
03 学校生活①	44
04 学校生活② (大学のキャンパスライフ)	48
05 趣味&娯楽	64
06 スポーツ	72
07 健康	76
08 ショッピング	80
09 季節	84
10 友情	88
11 食事	90

12 旅行	96
13 パーティー／祝日・行事	102
14 政治	110
15 産業・経済	114
16 社会問題	118
17 日本	126

ホームステイ & 留学を成功させるためのアドバイス

■ 出発前のアドバイス.....	8
■ ホームステイライフ.....	14
■ 米国の大学のキャンパスライフ.....	36
■ 英会話上達のためのアドバイス.....	136

Printing of this document are strictly prohibited.

アメリカ ホームステイ&留学の英会話



Chitwood Hall
(West Virginia University)

■ 出発前のアドバイス

① 英語の勉強について

留学・ホームステイが決まったら、日本にいる残りの時間を有効に活用しましょう。まず始めに、英語の勉強の仕方について何点かアドバイスをします。

1. 英文法がしっかりしていないと、会話表現をたくさん覚えても、自分で正しい英文を作ることが出来ないため、何年海外で生活してもあまり英語が上達しません。そこで、日本にいる間、また海外でも英文法の本を繰り返し勉強することをお勧めします。
2. 英語を勉強する際には音読（大きな声を出して読むこと）を心がけましょう。音読は黙読よりも速く記憶できるだけではなく、自分の声を耳で聞くため、リスニング力を向上させることもできます。自分の発音に自信がない方はCDの付いている教材を使用し、CDの後について何回か練習してから、音読を行うとよいでしょう。
3. 海外のドラマ、ニュース、映画、英会話番組、英語学習者用雑誌（English Journal など）などのリスニング教材がありますので、自分に合った物を選び、毎日英語を聞き、英語の音に慣れておきましょう。
4. 語彙、熟語、会話表現を出来るだけ多く覚えましょう。
5. 英語で考える習慣を身に付けましょう。クラスメートや友達と本書を使って英問英答の練習をしたり、日記を英語で書いたり、独り言を英語で言ってみたりすることをお勧めします。また、あるトピックについて英作文をし、ネイティブの先生にチェックして

もらうのもよいでしょう。

7. 海外の学校ではかなりの量の英文を読むことを課されますので、平易な文章で書かれたものを辞書を使わずに速読速解する練習をしましょう。

② 滞在国・滞在地域についての下調べ

滞在する国・地域の歴史、社会、文化、習慣などの基礎知識があれば、現地で見聞きをしたり、体験することが分かりやすくなりますので、あらかじめ下調べをしておきましょう。それらの情報は、いろいろな本やインターネットで調べることが出来ます。また、訪れる国の概況や最新情報なら在日大使館や領事館のホームページからも入手出来ます。これらの資料は郵便で請求することも出来ます。

③ 日本に関する一般的な知識

外国へ行くと日本の歴史、文化、政治、教育など、日本について説明する機会が多くあります。それらの質問に答えられるよう、折に触れて、日本についての一般的な知識を身に付けるよう心がけましょう。内容は中高生の教科書程度で十分です。また、日本の時事問題にも関心を持ち、自分の意見を述べられるように、考えをまとめて、英語で説明する訓練をするのもよいでしょう。最近では、日本を紹介した本が、日本語でも英語でも多数出版されていますので、何冊か現地に持って行くと大変役に立ちます。また、日本固有の物を説明するために自分で撮った写真、ビデオ、絵葉書、実物を持って行くこともお勧めします。

④ 健康管理

ホームステイ・留学を成功させるためには健康であることが最も大切です。

出発の1～2ヶ月前になったら、健康診断を受けて体に悪いところがないか確認しておきましょう。歯の治療も出発前までに必ず済ませて下さい。眼鏡やコンタクトレンズを使っている方はスペアや検眼証明書を持参することをお勧めします。また、ちょっと具合が悪くなった時のために、使い慣れた胃腸薬、目薬、風邪薬などを持って行くと安心できます。ホームステイ・留学はだれでも体験できることではありませんので、日々健康に留意して、多くのことを吸収して下さい。

⑤ ホストファミリーに自己紹介の手紙を出そう

受け入れ先のホストファミリーが決まったら、出発前に自己紹介の手紙を出しておきましょう。ホスト側もどのような人を受け入れるかあらかじめ知っている方が安心します。ホストの住所、氏名はホームステイ斡旋機関に問い合わせれば教えてくれます。手紙には、趣味、家族、ペット、好きなスポーツ、学校生活、社会人であれば仕事や職場のこと、またホームステイへの抱負や出発前に確認しておきたいことなどを書きます。食べ物の好き嫌いや健康上の問題点などを知らせておくことも共同生活を円滑に行う上で大切です。手紙だけでなく写真もあると、より親近感を抱いてくれますので、自分、家族、自分の家や町、学校などの写真を同封するとよいでしょう。

自己紹介の手紙の例

Dear Mr. and Mrs. Miller,

Hello. How do you do? My name is Taro Tanaka. Since I'll be staying with you this summer, I'd like to introduce myself in advance. I live in Chiba with my parents and younger brother. I'm 19 years old and a sophomore in university. My major is linguistics.

My father, Shigeru, is a dentist and works very hard from morning till night. He likes to play golf on weekends. My mother, Satomi, is a homemaker. She has many hobbies such as tea ceremony and flower arrangement. I have one younger brother, who is a high school student. Recently he's crazy about karate.

My hobbies are reading, kendo, and English conversation. I belong to the kendo club at university. I like watching American movies, too. I guess I'm a typical Japanese boy. My dream is to be an English teacher, so I've been studying English and linguistics hard.

Well, that's all for now. I'll enclose the pictures of my family, university, and town. I'll phone you soon and let you know exactly when I'll be arriving. I'm looking forward to meeting you and your family.

Sincerely yours,

Taro Tanaka

Taro Tanaka

拝啓 ミラー御夫妻

こんにちは。はじめまして。私の名前は田中太郎です。この夏、あなた方のところに滞在させて頂きますので、前もって自己紹介をしたいと思います。私は千葉に両親と弟と一緒に住んでいます。私は19歳で大学の2年生です。私の専攻科目は言語学です。

私の父、茂は歯医者で朝から晩までとても一生懸命に働いています。彼は週末にゴルフをするのが好きです。私の母、聡美は主婦です。彼女には趣味がたくさんあります。例えば茶道や華道です。私には高校生の弟が1人います。最近彼は空手に夢中になっています。

私の趣味は読書と剣道と英会話です。私は大学の剣道部に所属しています。私はアメリカの映画を見るのも好きです。私は典型的な日本人の男子だと思います。私の夢は英語の先生になることです。だから一生懸命に英語と言語学を勉強しています。

今回はこのへんで終わりに致します。私の家族、大学、町の写真を同封致します。近いうちに電話をして、正確にいつ到着するかお知らせ致します。あなた方とご家族の皆さんにお会いするのを楽しみにしております。

敬具

田中太郎

⑥ おみやげ

おみやげを選ぶ際に最も大切なことは、自分がもらってもうれしい、楽しいと思う物を選ぶということです。おみやげは高価でなくても心のこもったものであれば喜ばれます。ホームステイの受け入れ先が決まった時、家族構成を教えてもらえるので、一人一人年齢や性別を考えておみやげを選びましょう。おみやげはホストファミリー用だけでなく、現地でお世話になった人、自宅に招待してくれた人などにもお礼として渡せるようにいくつか余分に持って行きましょう。おみやげはお箸、扇子、絵葉書、暖簾など日本情緒たっぷりの品物、または園芸用品、台所用品、カー用品、小さい子どもには日本のアニメキャラクターの絵のついた学用品など、実用的な物が喜ばれるでしょう。



■ ホームステイライフ

① 安全について

最近、海外へ出かける人が増加するに従って、犯罪に巻き込まれる人の数も増えています。ホームステイが始まったら、ホストファミリーに現地の治安について尋ね、絶対に危険な場所には近づかないようにしましょう。その他、犯罪や事件に巻き込まれないようにするためには、多額の現金や高価な物を持ち歩かない、夜遅く1人歩きをしない、帰宅が遅くなる場合にはホストファミリーに迎えに来てもらう、麻薬・マリファナ・覚醒剤などの薬物には絶対に手を出さない、交通事故に十分に気をつけるといったことを常に心に留めておいて下さい。気がゆるんでいる時にトラブルに遭うことが多いので、海外では日本にいる時以上に気を引き締めて行動して下さい。

② 部屋の掃除

ステイ先の家族のやり方に従い、自分の部屋の掃除は自分でしましょう。床の掃除も数日おきに定期的に行いましょう。日本から持って来たスーツケースや郵送したダンボール箱の中身は、出来るだけ早く部屋の適切な場所に収納しましょう。朝起きた後、ベッドもきちんと整頓しておいて下さい。ベッドメイキングのやり方が分からない人はホストファミリーに尋ねるとよいでしょう。アメリカでは、訪問客に家の中を案内することがよくありますので、いつ見られても大丈夫なように普段から自室を整理整頓しておきましょう。

③ 家事の手伝い

アメリカの家庭では、幼い頃から自分のことは自分でする、また家の手伝いをするようしつけられます。ステイ中はお客様のつもりで何

もやらないのではなく、学校から帰った後や週末には積極的に家事を手伝いましょう。家事を手伝うことによって、家族と打ち解けることができるだけでなく、日常会話で使う生きた表現や異文化を学ぶことができます。新聞を取ってくる、犬の散歩をする、コーヒーを入れる、買い物をする、芝刈りをする、食後の後片づけをする、洗車をするなど手伝える家事はたくさんあります。役割分担を家族と話し合い、早めに家事に参加して下さい。

④ホストファミリーとうまくやっていくコツ

自分の家族にも生活の仕方のルールがあるように、ホストファミリーにも独自のルールがあります。ホストファミリーと円滑に楽しい日々を過ごすためには、まず第1に自分も家族の1員という自覚を持ち、それらの決まりを尊重し、できるだけ従うことが大切です。食事の時間、テレビを見る時間、就寝の時間等、ホストファミリーの1日の生活の仕方を早くつかみ、彼らの生活パターンになるべく合わせるようにしましょう。彼らの生活のルールに従うだけでは打ち解けた間柄になることはできません。ステイ先の家族と親密な関係を築くためには、リビングルームに出て行き、積極的に自分から一緒にテレビを見たり、おしゃべりに参加したりするようにしましょう。日頃からなるべくホストファミリーと共に過ごす時間を多くすることを心がけて下さい。また、共同生活をしていてお互いに何か不満を感じたら、悩みを自分たちの中にしまいこまないで、率直に話し合い解決するという取り決めをあらかじめしておくといよいでしょう。

⑤洗濯について

ホストが洗濯をするのでついでにやってくれると申し出てくれた場合はお願いしても構わないですが、基本的には洗濯は自分でやりましょう。洗濯機 (washing machine / washer) と乾燥機 (dryer) は家

事室 (utility room) やガレージに置いてあります。洗濯機は全自動のものが一般的です。家族によって洗濯の仕方が異なるので、初めて洗濯をする時にはよく説明を聞いて下さい。その際に、洗剤 (laundry detergent)、柔軟剤 (fabric softener)、漂白剤 (bleach) などの洗剤類の使用方法も確認しておきましょう。欧米では、町並みや家の見た目を大切にするので洗濯物は外に干さないで、乾燥機で乾かすのが一般的です。乾燥機はかなり高温になるので、傷んだり縮みやすい衣服は家族に干してよい場所を聞いて、自然乾燥させるとよいでしょう。また、高価な衣類はクリーニングに出した方が安全です。

⑥ シャワー・入浴について

一般的に日本人の多くは身体を清潔にするためだけでなく、ゆっくりとお湯につかり1日の疲れを取るために、長い時間をかけてお風呂に入ります。一方欧米人はシャワーや入浴の目的は、「出かける前に清潔にしサッパリするため」という考え方を持っているので、シャワーだけを使う人が多く、時間がそれほどかかりません。バスルームはバス、シャワー、トイレが一体となっているのが普通ですので、あまり長時間独占しないように注意して下さい。朝シャワーの奪い合いが起こるのを避けるために、家族とシャワーを浴びる時間の取り決めをしておくといよいでしょう。欧米では、バスルームは使用后、次に使う人が気持ちよく利用できるように掃除しておくことがエチケットとなっています。また、欧米ではバスルームのドアは使用后、開けておく習慣がありますので覚えておいて下さい。

⑦ 病気について

食べ物や環境のちがい、緊張などの理由で新しい生活に慣れるまでは体調を崩す場合があります。体調が悪い時はホストファミリーにその旨を告げて、十分に休養を取りましょう。普段服用している薬があ

る人は、多めに持って行ったり、日本の家族に早めに連絡して送ってもらうなどして、薬が切れないように注意しましょう。また、もしもの場合に備えて日本で保険に入り、保険証書を忘れずに持って行きましょう。海外で医師に診てもらう際には、初診時に、既往症、持病、アレルギーの有無、現在の症状などを問診票に記入、または口頭で説明しなければいけませんので、病名や症状を英語ではどのように言うのかをあらかじめ調べ、手帳にメモしておくといいでしょう。持病がある人は、日本のかかりつけの医師に診断書と薬の処方箋を英訳してもらい、それらを現地の医師に見せると、病状をよりの確に伝えることができるので安心です。

⑧ 食事について

欧米人にとって食卓は家族の大切な団らんの場です。食事の時には、料理だけではなくおしゃべりも楽しみましょう。英語を話す練習をするのに絶好の機会です。菜食主義、アレルギー体質、宗教上の理由などのために食べられない物がある人はあらかじめホストファミリーに伝えておきましょう。そうでない限りは、初めて食べる物であっても一度は食べてみるのが作ってくれた人への礼儀です。どうしても口に合わない場合には、以後同じ物が出されるといけませんので、作ってくれた人の気分を害さないように "I'm sorry, but somehow this dish doesn't agree with me." 「申し訳ありませんが、この料理はどうも私には合いません」 などと言ってその旨を伝えましょう。寿司、豆腐、テンプラなどの日本食は海外でも低カロリーでヘルシーという理由でブームになっています。たまには欧米人が好みそうな日本料理—焼き鳥、すき焼き、お好み焼きなどを作ってあげると喜ばれます。

食事の際には大きな音を立てて食べたり、飲んだりしない、ひじをテーブルに乗せない、悪い姿勢で食べない、口にもものを入れたまま喋らないなどのテーブルマナーに注意しましょう。

それから、「冷蔵庫の中の物は自由に飲食していい」「台所は好きな時に使っていい」と言われても、ひとこと断るようにした方が無難です。

⑨ 話題について

会話のトピックとして本書で取り上げているものは皆、無難ですので、積極的に学習した表現をホストファミリーや友達との会話の際に使ってみて下さい。政治、宗教、人種問題などのトピックは、思わぬひと言が誤解を生み、相手との関係を損なう可能性がありますので、相手を傷つけないで自分の考えを理路整然と英語で伝える自信がない人は避けた方が賢明でしょう。しかし、これらの分野のトピックでも、「自分はよく分からないので教えてほしい」と言えば快く教えてくれるはずです。自分の家族、故郷、友達や修学旅行などについて話す時は写真やビデオを見せながら話すとファミリーはより興味を持ち、会話が弾むでしょう。

⑩ 門限、外出、外泊について

ホストファミリー以外の人と外出する時には、誰とどこへ行き、何時頃帰宅するか、また、夕食は要るか要らないかをはっきりと家族に伝えて下さい。週末の予定もホストファミリーがあなたのためにパーティーやドライブなど、何か特別なことを計画しているかもしれませんので、早めに知らせましょう。外出をする時のために早めに家族に門限の有無を確認し、門限をできるだけ守るように努めましょう。帰宅が遅くなる場合には必ず連絡し、遠慮しないで家族に迎えに来てもらって下さい。外泊をする際には家族に必ず許可をもらい、外泊先の電話番号を覚えておきましょう。ホストファミリーはあなたの安全を非常に気遣っていますので、心配をかけないように注意しましょう。

⑪ 電話を使用する際の注意点

ホストファミリーの家の電話は必ず“May I use your telephone?”「電話をお借りしてよろしいですか」などと尋ね、許可を得てから使用して下さい。電話を使う時には他の人のことも考え、長電話にならない、早朝や夜遅い時間にかけないよう注意して下さい。また、早めに日本の友人や家族に電話をかけても支障のない時間帯を知らせて下さい。さらに、日本の家族や現地の日本人の友人と頻繁にまた長時間自分たちの理解できない言葉でペラペラと喋っていると、ホストファミリーが疎外感を持ったり、自分たちは日本の家族に信頼されていないと不安を抱きますので、日本語での電話はホストファミリーが気分を害さない程度に自粛して下さい。

北米では電話の請求書に相手先の電話番号が記載されているので、請求書を見せてもらい、自分のかけた分を支払うようにしましょう。後で自分のかけていない分も請求されていたということが分かり、ホストファミリーとの関係が悪くなることを避けるために、始めに電話の明細を見せてくれるようお願いすることをお勧めします。

電話代のことでホストファミリーに面倒をかけたくない人はコレクトコールでかけるか、電話会社が発行しているプリペイドカードを使用することが出来ます。北米ではプリペイドカードはコンビニなどで10ドルか20ドルくらいで販売しています。